

バトンクラブ全国大会出場報告

目指せ、全国優勝！

クッキーズバトンクラブのメンバーが、「第52回バトントワーリング関東大会」に出場し、U-18の部で金賞を受賞。11月27日、根本市長を訪問し受賞報告を行いました。メンバーたちは「大きな大会での演技は緊張するけど、優勝目指して頑張ります」と話し、全国大会出場への意気込みを語りました。



第6回みんなのしあわせ見本市

子どもから大人まで健康づくり、幸せづくり

11月19日、牛久運動公園体育館で「第6回みんなのしあわせ見本市」が開催されました。今回は世界糖尿病デーイベントが同時開催され、糖尿病や運動療法の講演会が行われました。そのほか、運動体験コーナーでは11月に完成した「新しくかっぱ体操」が行われ、来場者は普及員の指導のもと体操を体験しました。来場者からは「毎年、楽しみにしている。健康チェックは欠かせません」という声も聞くことができました。



寄付 温かい善意 ありがとうございます

●歳末助け合い托鉢

12月4日、今年で32回目の牛久市佛教会による托鉢行脚が市内で行われ、国道6号や牛久駅などで募金を呼び掛けた後、最後に市役所で来庁者や職員が募金に協力しました。この托鉢による募金239,886円は、牛久市社会福祉協議会に全額寄付していただきました。この募金は、援護対象世帯への見舞金として使われます。



牛久市国際交流協会 冬の交流会

牛久で育む異文化交流

日本語教室の「冬の交流会」が12月2日、三日月橋生涯学習センターで行われ、日本語教室ボランティアと外国人学習者などで賑わいました。当日は相撲甚句、セネガル出身ミュージシャンの太鼓演奏、クラスごとの歌やフラダンスなどが披露されました。また、さまざまな国の料理が持ち寄られ、抹茶を楽しめるコーナーを設けるなど、食文化の交流も楽しみました。最後は全員で輪になり「ジェンカ」でダンス、終始和やかに会が進みました。



秋の叙勲

受章おめでとうございます

「秋の叙勲」と警察官や自衛官などの業務に長年従事した人をたたえる「危険業務従事者叙勲」が発表されました。牛久市では17人の方が受章しました。

おめでとうございます。

※掲載の許可をいただいた方のみ掲載しています。(敬称略)

●平成29年 秋の叙勲

旭日双光章

鈴木 節子 (元牛久市議会議員)

瑞宝小綬章

永井 聰 (元産業技術総合研究所計量研究所首席研究官)

瑞宝単光章

麻生 勇治 (元法務教官)

●第29回 危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

有田 勝之 (元警視庁警部)

木村 功 (元稲敷地方広域市町村圏事務組合消防司令長)

瑞宝単光章

石崎 勇司 (元准空尉)

大木 功 (元東京消防庁消防司令)

古宇田 幸夫 (元警視庁警部)

佐藤 研一 (元東京消防庁消防司令長)

田邊 光一 (元警視庁警部補)

藤田 和栄 (元警視庁警部補)

事故から復帰。世界で活躍！

12月9日からマレーシアで開催された「IBSA ブラインドサッカーアジア選手権2017」に日本代表として市内在住の佐々木ロベルト泉さんが出場しました。佐々木さんは平成18年に交通事故により失明。サッカーは幼少期に経験しており、事故後、平成21年に入学した筑波技術大学でブラインドサッカーと出会ったとのこと。その後練習を重ね、様々な大会で日本代表として招集がかかり、今回のアジア選手権の出場に至りました。佐々木さんは「事故後の気持ちは言葉にできない。しかしあるとき、この人生は目が見えなくても何かあるのではないかと思った。そうしたら次から次へと新しいことが起こった」と話します。また、大会出場については「仲間を信じてプレーするのみ。それが一番大切。金メダルを獲りたい。最後までフィールドに立ち続ける」と熱く語りました。

▶ 11月24日に根本市長を表敬訪問。写真中央が佐々木さん



困ったことから発明！

第19回全国ジュニア発明展の小学生部門で牛久市少年少女発明クラブの小瀧陽翔くん(小学6年)の作品、「くつ自動かんそう機ひまわり2号」が最優秀賞文部科学大臣賞。また中学生部門では同クラブの小瀧亮宙くん(中学2年)の作品「農薬ピンポイント塗布装置」が優良賞を受賞しました。陽翔くんと亮宙くんは兄弟。発明に困ったときはお互いにアドバイスを出し合うこともあるとのこと。受賞の感想については陽翔くんは「1位を獲ったのは初めて。とてもうれしかった」と話し、また亮宙くんは「受賞は家族の協力もあってできた、ありがとう。将来は人の役に立つことをしたい」と家族への感謝の気持ちと将来の夢を語りました。

▶ 11月30日に根本市長を表敬訪問



園児が感謝の気持ち伝える

交通安全教化員に感謝の気持ちのプレゼント

交通安全教室などを開き、交通安全や防犯について子どもたちに教えている交通安全教化員に感謝の気持ちを伝えるため、11月29日、牛久幼稚園の園児が市役所を訪れました。園児たちは交通安全教化員に、「いつもありがとう。交通安全に気を付けます」とお礼の絵と共に感謝の気持ちを伝えました。



ふれあい美花市民の会 平成29年度活動状況

花で心を豊かに！ふれあい美花市民の会

心豊かな潤いのある活気に満ちた「美しい地域づくり街づくり」を目指して、市内23団体と幼稚園・小学校・中学校が一体となり毎年積極的に活動しています。今年度の「牛久市花いっぱい運動コンクール」と、大好きいばらき県民会議主催の「花と緑の環境美化コンクール」の審査結果を発表します。

◆「第45回花と緑の環境美化コンクール」審査結果

賞名	部門	団体名
茨城県花き園芸協会会長賞	地域の部	刈谷地区自治会

◆「第28回牛久市花いっぱい運動コンクール」審査結果

賞名	部門	団体の部	学校の部
会長賞		小坂花の会	中根小学校 神谷小学校
特別賞		刈谷地区自治会	第二幼稚園
努力賞		かみや緑の里親元気クラブ 柏田台自治会	向台小学校 牛久第一中学校 第一幼稚園
敢闘賞		向台自治会 松ヶ丘自治会 東みどり野シニアクラブ 神谷神和会	牛久第二中学校

※上記審査結果のうち、「第28回牛久市花いっぱい運動コンクール・学校の部」は、市ホームページでも写真入りで紹介しています。



「和食の日」給食

給食で味わう日本の文化

11月24日の“いい日本食”「和食の日」に市立保育園、幼稚園、小中学校で「和食の日」給食が行われました。この日、神谷小学校の献立は、いなだの照焼き、ヤーコンの金平、うしく河童大根と白菜のみそ汁など。地元産野菜たっぷりのだしをきかせた献立に子どもたちは「和食っておいしい」と笑顔で話していました。



▲ヤーコン生産者の長沼雅之さんが子どもたちと一緒に会食。

第28回茨城県安全運転競技大会

安全運転で優勝

11月11日、茨城県安全運転管理協会主催の「第28回茨城県安全運転競技大会」が開催されました。牛久地区からは牛久消防署の鳥井章平さん、阿見消防署の丸岡健太さん、牛久市役所の竹内絵里さんが出場し、団体の部で見事優勝。また、個人男子の部で鳥井さん、個人女子の部では竹内さんが優秀賞を獲得しました。



▲(左から)鳥井さん、丸岡さん、竹内さん

がんばれ、牛久市消防団！

第17分団の消防車両が新しくなりました

牛久市消防団第17分団(東下根)の消防車が新しくなり、納車式が行われました。これまでの消防車は、平成3年に配備されてから火災や災害現場で活躍してきました。新しい消防車は、最新の運行システムやポンプ、消防機材を搭載し、フットワークも軽く、容易に現場活動ができる設計となっています。



▲市役所において納車式が行われました

行政区活動

市内各行政区でイベント開催

今年も市内各行政区で文化祭や作品展示会が開催されました。竹の台行政区では初めて作品展示会を開催し、絵画や写真などの区民の作品が展示されました。岩崎恒夫区長は「皆さんの素晴らしい作品をお披露目する場を設けることができ良かった」と話していました。また、下根ヶ丘行政区の「みんなのピエンナーレ展」では、作品展示のほか、フリーマーケットを開催。小坂団地行政区では文化祭が開催され、作品鑑賞や毎年恒例のお茶会を楽しむためにたくさんの区民が足を運びました。



▲小坂団地行政区



▲竹の台行政区



▲下根ヶ丘行政区

年末の交通事故防止県民運動

市民に事故防止を呼び掛ける

「年末の交通事故防止県民運動」に合わせて、11月30日、向台小入口交差点で街頭キャンペーンを実施。運転手や歩行者に啓発品を配布しながら、子どもと高齢者の交通事故防止や飲酒運転の根絶を呼び掛けました。根本市長は「牛久市から1件でも悲惨な事故を減らしたい」と話していました。



奥野地区社協 秋そば収穫祭

実りの秋を地元で堪能

11月23日、奥野地区社協秋そば収穫祭が奥野生涯学習センターで行われました。当日はあいにくの雨でしたが、多くの方が会場に足を運び賑わいを見せました。会場では毎年恒例のそばがきなどが振る舞われ、地元で秋を堪能できる一日となりました。



第12回ブリアントヴィルうしく

輝く、牛久の夜

12月2日、牛久駅周辺を彩る「ブリアントヴィルうしく」の点灯式がJR牛久駅東口やっぺやっぺ広場で行われました。イルミネーションは、2月18日までの毎日、午後5時から午前1時まで点灯し、牛久の夜を彩ります。



牛久市の特色満載

牛久LINEスタンプ完成!

牛久市と一般社団法人牛久青年会議所では、市の様々な特色を活かしたLINEスタンプを販売開始。売上げは市のPR事業に活用します。ご家族・ご友人へ紹介し、牛久の魅力を発信しましょう。※LINEスタンプは、無料アプリ「LINE」で利用できるサービス。ご利用にはLINEへの利用者登録、アプリのインストール(<https://store.line.me/stickershop/product/1663169/ja>)が必要。販売価格は120円、または50コイン(1セット・40種類)



▲日常的に使用できる言葉入り(抜粋)

郷土の日本画家 鈴木草牛展 開催

牛久の偉人 鈴木草牛展開催

10月27日から11月26日にかっぱの里ギャラリー(かっぱの里生涯学習センター内)で「郷土の日本画家 鈴木草牛展」が開催されました。鈴木草牛は明治38年に旧牛久村に生まれ、自由な筆遣いで各地の風景や郷土の四季を描いた画家です。会場には湖面を大胆に描いた「湖心(水紋)」など約20点が展示されました。また現在、同会場では5月29日まで「郷土の日本画家 小川芋銭展1」が開催されています。ぜひ、かっぱの里ギャラリーで牛久の偉人の作品に触れてみてください。



▲右側の絵が草牛代表作「湖心(水紋)」

第23回うしく現代美術展

個性あふれる美術展

うしく現代美術展は、地元の作家を中心に市民・行政が連携して開催する地域に根ざした美術展です。今年は第23回展として、11月19日から12月3日に中央生涯学習センターで開催。57人の作家が、平面・立体・クラフトの各ジャンルで、「生きること 作ること」をテーマに作品を展示発表しました。開催にあたり、中村義孝よしたか実行委員長は「出品作家は全国的な展覧会や国際展で活躍しています。皆さん楽しんでください」と話し、観覧者は作品一つひとつをじっくりと楽しんでいました。



第8回うしく菊まつり新品種の名称決定

牛久の花「菊」 新品種の名前が決まりました

昨年11月に開催した「第8回うしく菊まつり」の会場で園芸家の上村遙氏による新品種の菊が3種類発表され、名称を募集しました。応募総数は113通に上り、その中から以下の名称に決定しました。※命名者は合計7人。掲載許可をいただいた方のみ掲載しています。



うしく
牛久ルビー

命名者
まつい ゆか
松井友香さん(牛久市)



うしく ひかり
牛久の光

命名者
おがわ こ
小川しげ子さん(牛久市)
なかやまやすよ
中山安代さん(牛久市)
おくたまさお
奥田正雄さん(龍ヶ崎市)



うしく
牛久のささやき

命名者
たくちよしひろ
田口喜啓さん(龍ヶ崎市)
たなべみつえ
田邊光江さん(牛久市)